

2026-6-04 (第1140回)

今週のプログラム

≪ 6月04日(休) 例会 KKR ホテル大阪5階「瑞宝」 ≫

◎ 卓 話 『ナフサについて』

阪田克英君

♪ 本日の歌 「君が代」「四つのテスト」

次 回 の 予 定

≪ 6月11日(休) 例会 KKR ホテル大阪5階「瑞宝」 ≫

◎ 卓 話 「退 任 挨 拶」

会長 北井孝彦君

幹事 田村嘉宏君

前 回 の 出 席 率

≪ 5月21日(木) 例会 ≫

会員数 14名 (内出席免除者数 1名)

本日の出席者数 7名 (内出席免除者数 0名)

本日の出席率 53.8%

幹 事 報 告

幹事 田村嘉宏君

◎ 本日例会後、定例理事会を行います。

◎ 次週(6/11)の例会は、今年度最後の通常例会となっております。例会後、臨時総会を行います。

会 長 の 時 間

会長 北井孝彦君

皆さん、こんばんは。

明日、明後日と私たちのメインの事業であります子供食堂への援助事業、明日に買出し、明後日に7ヶ所の子供食堂さんに食材等をお持ちする予定です。カンパも予定しておりますので是非皆さま、様々な形でのご協力お待ちしております。

今日は、子供食堂について纏めておきます。

1. 全国のこども食堂 (最新動向)
10,000 か所超 (2025 年時点) ※全国の自治体・団体の登録数を集計した推計値

全国的な特徴

- ・「子どもだけでなく誰でも参加できる地域の居場所」が主流
- ・食事提供に加え、学習支援・遊び場・相談支援など多機能化
- ・課題は「運営資金」「ボランティア不足」「食材確保」

2. 大阪府のこども食堂 (最新動向)

大阪府は全国でもこども食堂が非常に多い地域です。大阪府の特徴

- ・行政・大学・企業が連携した「大阪府こども食堂ネットワーク」が存在
- ・府内自治体が積極的に補助金・食材支援を実施
- ・こども食堂の数は全国トップクラス

3. 東大阪市のこども食堂（最新動向）

東大阪はこども食堂支援を積極的に行っている自治体である。

東大阪は公式に次の支援を実施しています

- ・こども食堂に対して補助金を交付（2026年1月16日更新）
- ・こども食堂へ「おこめ券」を交付（2025年7月29日）
- ・行政が直接的に運営支援を行う、全国的にも積極的な自治体。

東大阪市の特徴

- ・市内に多数のこども食堂が存在（37ヶ所）
- ・社協・地域団体・学校・企業が連携
- ・食事提供だけでなく、学習支援・見守り・交流の場として機能
- ・市の「子どもファースト」政策の一環として支援強化

卓 話 抄 録

『三大神宮はどこ』

ー河内國一宮枚岡神社との関わりー

北井孝彦君

◎三大神宮は？（明治以前に神宮と呼ばれたのは）

『古事記』では、伊勢神宮・石上神宮

『日本書紀』では、伊勢神宮・石上神宮・出雲大神宮・大神神社

『延喜式』（927年）では伊勢神宮・鹿島神宮・香取神宮の3社のみが「神宮」

ただ、「神宮」とのみいえば、⇒伊勢神宮のこと
天皇・皇室の祖先神、または皇室と特に深い関わりを持つ神社だけが「神宮」を名乗れるとしています。

- ・伊勢神宮（天照大神）
- ・鹿島神宮（武甕槌神）

創建：社伝では「神武天皇元年（紀元前660年）」
天智天皇期（668～672年）：初めて神殿が造営された

「神宮」として朝廷から特別視され始めたのは 奈良時代前半（7～8世紀）

- ・香取神宮（経津主神）

創建：「神武天皇18年（紀元前643年）」

『日本書紀』（720年）→経津主神が「香取に祀られる」と記述。

- 枚岡神社のご祭神（天児屋根命・比売御神・武甕槌神・経津主神）

創建：「神武天皇18年（紀元前643年）」神津獄史料で確認できるのは7世紀（白雉元年＝650年）
白雉元年（650年）9月16日、平岡連（平岡氏）らにより現在地へ

○時代の整理

旧石器時代 約38000年前～16500年前

縄文時代 約16000年前～

弥生時代 約2400年前

日本の起源 皇紀 2686年 よって、縄文時代のおわり、弥生時代の役300年前

- 何故日本列島に旧石器時代の遺跡がたくさん残っているのか？

日本の遺跡 10,150遺跡 関東から

朝鮮半島の遺跡 50程度

※いかに日本列島に人口が集中していたかを示している。

※日本の中でも九州はじめ日本の西半分には、遺跡が少ない。関東や中部地方に多い

→アフリカで人類が発生した。→太陽の昇る場所を求めて日本にやってきた人たちがいた。

（太陽信仰、日本は最東端の国）

→それから一部は北海道→アリューシャン列島→北米まで行った。

→縄文時代の遺跡の中心は日本列島の西ではなく東であったこと→縄文遺跡は甲信越から関東・東北に密集

- 日高見国

『日本書紀』景行天皇27年の記事、「東夷の中、日高見国あり、その国の男女、並びに椎結文身し、人となり勇敢なり、これ全て蝦夷という」

→三内丸山遺跡

→日本は村落共同体が緩やかに結びついて作られた国 豊かな自然と調和した生活をしていた

→日本人の原型は縄文時代にある

→鹿島、香取の二つの神宮を中心とする祭祀国

○高天原は関東にあった？

→鹿島、香取という天皇家とつながる大神宮が関東にある

○紀元前二万年位に氷河期が終わる→日本が大陸と地続きであった時代も終わる。→縄文時代始まる
三千年くらい前から気候変動が起こり、だんだん寒くなってきた→関東東北に集中していた人口が南下し西に向かう→西日本の人口が増加。さらに、海外からの移民、帰化人入ってきた。

→東日本の日高見国の統治者たちは西日本を統一しなければならないと思う。→天孫降臨

→天孫降臨は日高見国の中心地である鹿島から九州の鹿児島へ船で移動していくことから始まった。

→第一の目的は朝鮮半島を通して渡ってきた帰化人から九州を守ること。

○出雲国譲り（出雲と日高見国の関係）

大国主命に国を譲れと迫る 武甕槌命（武神）
建御名方の命（大国主の三男）→諏訪へ連れて行かれる。∴諏訪も日高見国の領域だった。

○「鹿児島」の云われ 鹿島→香島（かぐしま）

鹿島から鹿児島への船の航行ルートが存在していた。

鹿島神宮の「御船祭」（12年に一度、鹿島・沼尾：坂戸の三社から香取神宮へ三艘の船を出す祭）
→船団を組んで鹿児島へ向かった名残か

○鹿児島に諏訪神社が多いのは、上記の理由からか。

ニコニコ箱の報告

例会担当委員会

(5/21) 合計 14,000 円 今年度累計 411,670 円

フードドライブ

5月22日(金)、ザグザグや万代で買い出しをして、表さんに用意して頂いた段ボール14個（7か所に2箱ずつ）に仕分けをして、翌日23日、2班に分かれてお届けをしました。

回を重ねるにつれ、子ども食堂の方々と親しくなり、今後の要望などお聞きしました。



**UNITE
FOR
GOOD**

2025-26年度 東大阪みどりRCテーマ

三つの幸せ

幸せには三つあると言われます。一つ目の幸せは、してもらう幸せ。
二つ目は、自分でできる幸せ。三つ目は、して差しあげる幸せです。
三つの幸せの中でも、最も大きな幸せが、三つ目のして差し上げる幸せです。
ロータリーの「よいことをしよう」こそ、三つ目の幸せです。